

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 5年 2月 27日

公表: 令和 5年3月20日

事業所名 ジーニアスラボ道德校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	3	個別支援計画を元に職員間で情報を共有し目標に取り組んでいる	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		保護者様の意見を聞く機会をもっと府茶して行けるよう、アンケートや家庭連携などの拡充を行っていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2		毎年、事業所の会報やHP等で公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		職員間で共有を行いながら、業務改善に努める
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		社内研修及び外部講師による研修に機会を設けている	今後も継続していく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		今後も職員内で共有をしながら継続していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	3		今後も継続していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		療育に合わせた活動を毎月チームで見直している	今後も継続していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		療育に合わせた活動を毎月チームで見直している	今後も継続していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2	平日、休日とそれぞれに合わせた活動の内容を設定している	今後も継続していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1	3	環境の変化や子どもの様子に合わせて、面談等で話す機会を設け計画を作成している	今後も継続していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		朝礼時に引き継ぎも含め役割分担の確認を行っている	今後も継続していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		終礼時に情報共有し、解決策を話し合っている	今後も継続していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		施設内の連絡網で情報共有し保存をしている	今後も継続する中で、見落としのないように共有していきたい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1	定期的なモニタリングを行い支援計画を更新している	今後も継続していく
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		ガイドラインをしっかりと読み込み支援に繋げていく	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			今後も継続していく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1		今後も継続していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3		該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3		就学前の情報をしっかりと把握した上で支援が出来るように対話を増やしていきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4		事例なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	自立支援協議会の集まりの時に助言をもらっている	今後も定期的に連絡を取り合い、支援の視野を広げていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	公園などにいき関わる機会を設けている	様々な場所へ赴き交流の機会を増やしていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	協同でイベントの開催を行っている。その中で他事業所との情報共有を行っている。	今後も継続していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎等の際に気になる事について話し、共通理解が持てるように心掛けている	今後も継続していく
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4	様々な連絡ツールを活かして対応方法の提供をしている	将来も見据えた上で関りをもっていけるよう、職員の学びを増やして助言ができるようにしていきたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	難しい言葉、専門用語は避けわかりやすい言葉で説明を行っている。	今後も継続していく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		普段から相談しやすい関係性、構築に努めている	職員間で共有をしながら、今後も継続していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	父母会を定期的に開催している	今後も継続していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			問題が発生した際はその場で対応する様になっている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		カレンダーや広報誌を配布、その他必要に応じ資料を作成し配布している	今後も継続していく
	35	個人情報に十分注意している	4		鍵付きの書庫に保管、管理を徹底している	今後も継続していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		わかりやすい言葉、話しやすい態度を心がけている	今後も継続していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	身近な大学に赴き交流をしている	コロナ禍で機会が減ってしまったので、今後は計画を立てて機会を作っていきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	各委員会で概要を提示している	保護者への周知が不十分なので定期的に伝えることが出来るようにしていきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		毎月防災訓練やイベントを開催している	今後も継続していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		虐待防止委員会の設置、研修の開催を行い、参加している	今後も継続していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		身体拘束が必要な場合は、個別支援計画に盛り込み、保護者に説明の元実施をするようにしている	今後も継続していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	アレルギーのある子の利用の際は、その都度施設全体で情報共有を実施	徹底した管理を行い、安全面に配慮したうえで今後も継続していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2	日々の振り返りで共有するようにしている	ヒヤリハットは共有をして、作成が出来るようにしていく